

南山田小学校との通学区域の見直しに対するアンケート結果

山田第五小学生の保護者【66件】

課題点	課題内容	件数	割合
1	一部の児童が転校する事による心理的影響に対する懸念	18	30%
2	通学路の変更による安全性への懸念	7	11%
3	兄弟が別々の学校に通うことになることへの懸念	7	11%
4	通学距離が長くなることに対する懸念	3	5%
5	問題なし	3	5%
6	その他	23	38%
合 計		61件	100%

その他の意見例

- ・ 校区変更の対象地区の方の意見を聞くまでは、現実的であるか分からない。
- ・ 自治会等への理解。
- ・ 保護者が校区変更により動揺が起きる。児童数が増えることで、これまで小規模校として大事にしてきた丁寧な教育、空間にゆとりのある教育に一定程度制限がかかる。

南山田小学校との通学区域の見直しに対するアンケート結果

南山田小学生(直接影響を受ける地域)の保護者【124件】

課題点	課題内容	件数	割合
1	通学路の変更による安全性への懸念	64	32%
2	一部の児童が転校する事による心理的影響に対する懸念	58	29%
3	通学距離が長くなることに対する懸念	21	11%
4	兄弟が別々の学校に通うことになることへの懸念	15	8%
5	通学区域の見直しに伴う不動産に対する各種悪影響への懸念	11	6%
6	通学区域の見直しによる学校の受け入れ容量への懸念	2	1%
7	その他	29	15%
合計		200件	100%

その他の意見例

- ・ 校区の変更があった場合、すでにPTAの役を終えている保護者は再び担当するのか。
- ・ 山田第三小学校が過小化していくことへの対策が先送りされており、行政計画として、見通しが甘く不完全と言わざるを得ない。南山田の児童数が減少傾向にあるなか、これまで過大であったときに振り分ける検討すらせず、他校が減少するときだけ変更対象とすることは、説明責任を果たせておらず、行政の怠慢ではないか。
- ・ 少しずつ対象区域を増やしても、課題の先送りに過ぎない気がします。

南山田小学校との通学区域の見直しに対するアンケート結果

南山田小学生(直接影響を受けない地域)の保護者【78件】

課題点	課題内容	件数	割合
1	一部の児童が転校する事による心理的影響に対する懸念	24	33%
2	通学路の変更による安全性への懸念	19	26%
3	通学距離が長くなることに対する懸念	8	11%
4	兄弟が別々の学校に通うことになることへの懸念	4	5%
5	通学区域の見直しに伴う不動産に対する各種悪影響への懸念	3	4%
6	通学区域の見直しによる学校の受け入れ容量への懸念	2	3%
7	特になし	2	3%
8	その他	11	15%
合 計		73件	100%

その他の意見例

- ・ 今通っている児童を強制的に異動させることにメリットがない。
- ・ 長野西と長野東は道路を挟んだだけの近距離なので、校区を分けるのは難しいと思う。
- ・ 山田第五小学校の存続により税金がかかり続ける。

南山田小学校との通学区域の見直しに対するアンケート結果

山田第三小学生・岸部第二小学生・その他小学生の保護者【71件】

課題点	課題内容	件数	割合
1	一部の児童が転校する事による心理的影響に対する懸念	11	26%
2	通学路の変更による安全性への懸念	10	23%
3	通学距離が長くなることに対する懸念	7	16%
4	兄弟が別々の学校に通うことになることへの懸念	3	7%
5	通学区域の見直しに伴う不動産に対する各種悪影響への懸念	2	5%
6	特になし	2	5%
7	通学区域の見直しによる学校の受け入れ容量への懸念	1	2%
8	問題なし	1	2%
9	その他	6	14%
合計		43件	100%

その他の意見例

- ・ 将来的に同じ課題に直面する。根本的問題は第三と第五の距離が近すぎると思う。
- ・ その小学校に通うために、その学校区を選んだ人もいるはずで、その思いを無視している。
- ・ 南山田小学校区は今後人数が減っていくのに学校変更は反対。

学校選択制の導入に対するアンケート結果

山田第五小学生の保護者【66件】

課題点	課題内容	件数	割合
1	山五を選択する児童が少ない場合に効果がない	27	46%
2	学年によって人数にばらつきがあり、不確実性が高い	10	17%
3	新たに通学等の安全確保が必要	2	3%
4	判断等や兄弟ごとの対応等が必要で保護者に負担がかかる	2	3%
5	特になし	1	2%
6	その他	17	29%
合計		59件	100%

その他の意見例

- ・ 状況が改善するのかどうか不透明。
- ・ 通学に時間がかかる児童が増えたとして、仮に登校時間に間に合わないとか、生活の規則みたいなものが乱れる児童が出てくると他の児童にも影響するのではないか。
- ・ 児童の希望より、保護者の要望が勝る選択肢。

学校選択制の導入に対するアンケート結果

南山田小学生の保護者【202件】

課題点	課題内容	件数	割合
1	山五を選択する児童が少ない場合に効果がない	30	28%
2	学年によって人数にばらつきがあり、不確実性が高い	16	15%
3	特になし	12	11%
4	判断等や兄弟ごとの対応等が必要で保護者に負担がかかる	7	7%
5	新たに通学等の安全確保が必要	6	6%
6	その他	36	34%
合計		107件	100%

その他の意見例

- ・ 学校の管理は大変になると思うが、一番反対は少ないように思う。
- ・ 1年生で決めたら、その後は6年間の間で変われるのか。
- ・ 行政が管理できるのか不安。

学校選択制の導入に対するアンケート結果

山田第三小学生の保護者【18件】

課題点	課題内容	件数	割合
1	山五を選択する児童が少ない場合に効果がない	6	60%
2	学年によって人数にばらつきがあり、不確実性が高い	1	10%
3	特になし	1	10%
4	その他	2	20%
合計		10件	100%

その他の意見例

- ・ 決して多くない学校の人数が減る可能性もある。

学校選択制の導入に対するアンケート結果

岸部第二小学生の保護者【26件】

課題点	課題内容	件数	割合
1	学年によって人数にばらつきがあり、不確実性が高い	2	20%
2	新たに通学等の安全確保が必要	2	20%
3	判断等や兄弟ごとの対応等が必要で保護者に負担がかかる	1	10%
4	山五を選択する児童が少ない場合に効果がない	1	10%
5	その他	4	40%
合計		10件	100%

その他の意見例

- ・中学校はどこになるのか。
- ・中学校も選択制になるのか。